＜認知症対応型共同生活介護用＞
＜小規模多機能型居宅介護用＞

評 価 結 果 報 告 書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
Ⅰ. 理念に基づく運営	10
1. 理念の共有	1
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	4
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	1
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援	1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	5
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	3
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	7
1. その人らしい暮らしの支援	5
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	23

事業所番号	1493100067
法人名	社会福祉法人　地域サポート虹
事業所名	グループホーム　さくらそう
訪問調査日	令和8年8月27日
評価確定日	令和8年9月28日
評価機関名	株式会社　R-CORPORATION

○項目番号について

外部評価は23項目です。
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法

［取り組みの事実］
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

［次ステップに向けて期待したい内容］
次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 ＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家　族 ＝家族に限定しています。
運営者 ＝事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員 ＝管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム ＝管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

㈱R-CORPORATION外部評価事業部

令和8年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493100067	事業の開始年月日	平成19年12月1日
		指定年月日	平成19年12月1日
法人名	社会福祉法人　地域サポート虹		
事業所名	グループホーム　さくらそう		
所在地	〒　234-0054 神奈川県横浜市港南区港南台1-10-8		
サービス種別 定員等	□　小規模多機能型居宅介護	登録定員　名 通い定員　名 宿泊定員　名	
	■　認知症対応型共同生活介護	定員　計　6 名 ユニット数　1 ユニット	
自己評価作成日	令和8年8月18日	評価結果 市町村受理日	令和8年9月29日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームさくらそうは開所23年目になりました。入居定員が6名と少なく、小規模な家族が暮らすように運用しています。町内会に入会し、町内会や地域のイベントに顔を出す事で、地域に馴染みながら利用者様もスタッフも生活を育んで参りました。近隣に住むご家族も多く、こまめに面会ができ、ご家族と過ごす時間を大切にしています。月に7回ほど主治医の先生が往診に来られることで、体調管理や相談をこまめ行う事が出来ています。重度化に対しては、食事形態（ミキサー食）や、水分摂取にとろみやゼリーなど工夫して対応しています。ご家族、お医者様、地域の方々、職員が連携し、ご利用者様が、安心して、笑顔で生活頂けるように支援しています。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社　R－CORPORATION		
所在地	〒231-0023　横浜市中区山下町74-1　大和地所ビル9F		
訪問調査日	令和8年8月27日	評価機関 評価決定日	令和8年9月28日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

●この事業所は社会福祉法人地域サポート虹の運営です。同法人は横浜市栄区に本社を構え、栄区、港南区で介護及び子育て支援事業を展開し、介護事業（グループホーム、デイサービス、居宅介護支援事業所）を6施設、子育て支援事業（保育室、子育て支援拠点、おやこのひろば、家庭支援センター、地域活動拠点）を6ヶ所運営しています。事業所の理念に「人にやさしく・ふれあいの和・今という瞬間、その時を大切に」を掲げ、認知症になっても住み慣れた地域でお互いに手を取り、助け合い、支え合いながら暮らしていけるよう支援に努めています。立地はJR港南台駅からバスで「日野」停留所下車して徒歩5分程の場所にあります。

●事業所では、開設当初から手作りの食事提供を継続しています。食事はQOLの向上において重要な要素であることから、業者に発注するのではなく、一般家庭と同じように食材や調味料を生協で購入し、メニューも職員が考案しています。旬の食材を取り入れたり、利用者がテレビやチラシで関心を寄せた物を取り入れながら食事を楽しんでいただけるように工夫しています。また「楽しく美味しく召し上がっていただく」をモットーとし、その時の体調や、一人ひとりの食べれる量や形態を把握しながら食事を提供することで完食してただくことを心がけた支援を行っています。

●長年勤続していた職員(ケアマネジャー)の退職がありましたが、法人の理事が事業所のケアマネジャーとして勤務するようになりました。この機を変革期として捉え、事業所の運営方針を見直し、日常帳票類の整理・組織体制等の見直や再編成に取組みながら業務の統一、継続化、簡素化を進めながら利用者支援の向上に努めています。また、年間行事計画、内部研修計画も明確に提示するようにしたことで、意識的に計画に基づいて実践できるようにしています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
Ⅰ 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 10
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	11
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	12 ～ 16
Ⅳ その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	17 ～ 23
Ⅴ アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	グループホーム　さくらそう
ユニット名	

Ⅴ　アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 （参考項目：23,24,25）	○	1，ほぼ全ての利用者の
			2，利用者の2/3くらいの
			3．利用者の1/3くらいの
			4．ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 （参考項目：18,38）	○	1，毎日ある
			2，数日に1回程度ある
			3．たまにある
			4．ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 （参考項目：38）	○	1，ほぼ全ての利用者が
			2，利用者の2/3くらいが
			3．利用者の1/3くらいが
			4．ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 （参考項目：36,37）	○	1，ほぼ全ての利用者が
			2，利用者の2/3くらいが
			3．利用者の1/3くらいが
			4．ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 （参考項目：49）		1，ほぼ全ての利用者が
		○	2，利用者の2/3くらいが
			3．利用者の1/3くらいが
			4．ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 （参考項目：30,31）	○	1，ほぼ全ての利用者が
			2，利用者の2/3くらいが
			3．利用者の1/3くらいが
			4．ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 （参考項目：28）	○	1，ほぼ全ての利用者が
			2，利用者の2/3くらいが
			3．利用者の1/3くらいが
			4．ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 （参考項目：9,10,19）	○	1，ほぼ全ての家族と
			2，家族の2/3くらいと
			3．家族の1/3くらいと
			4．ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 （参考項目：9,10,19）		1，ほぼ毎日のように
			2，数日に1回程度ある
		○	3．たまに
			4．ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 （参考項目：4）		1，大いに増えている
		○	2，少しずつ増えている
			3．あまり増えていない
			4．全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 （参考項目：11,12）	○	1，ほぼ全ての職員が
			2，職員の2/3くらいが
			3．職員の1/3くらいが
			4．ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1，ほぼ全ての利用者が
			2，利用者の2/3くらいが
			3．利用者の1/3くらいが
			4．ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1，ほぼ全ての家族等が
			2，家族等の2/3くらいが
			3．家族等の1/3くらいが
			4．ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ　理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念「①人に優しく②ふれあいの輪③今という瞬間、その時を大切に」を事務所と食堂に掲示しています。スタッフミーティングでも定期的に理念の確認を行っており、職員で共有し実践につなげています。	事業所の理念は事務所と食堂に掲示し、職員や家族等の目に留まる場所に掲示しています。事業所では、開設当初に作成された「①人に優しく②ふれあいの輪③今という瞬間、その時を大切に」理念を継続して掲げ、一貫性のあるケアサービスが提供できるよう毎月のミーティングにおいて確認を行っています。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に参加しています。自治会の組長も担ったことがあります。参加が可能な地域のイベントにも参加しました。	利用者の重度化が進み、利用者と参加できる機会は少ないですが、極力自治会との関わりが持てるよう回覧板を通じて行事の情報入手に努め、参加できそうな行事にお連れするよう心がけています。町内会長は理事の高校時代からの知り合いで関係も良好で、良い関係性を構築できています。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域で施設見学のご希望がありましたら対応しています。運営推進会議で地域の情報の共有を行い、積極的に地域のイベントに参加、及び地域で認知症介護の講習会など催す際には参加させていただけるよう相談を進めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で質問や意見、課題などをいただき、検討し運用に取り組んでいけるよう努めています。	家族、地域包括支援センター職員、自治会役員、地域代表の方をメンバーとして、2ヶ月に1回開催しています。運営推進会議では、事業所の現状や活動状況報告を行い、アドバイスや意見交換を行い、認知症をはじめとした介護相談等にも応じています。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	港南区主催の講習会や研修に参加しています。また運営推進会議を通して、地域包括支援センター担当の方と地域の幼稚園の運動会などのイベント参加を相談しています。	法改正（介護報酬改定など）や不明点があった際には港南区の担当者に連絡し情報収集に努めるなど、都度相談に乗っていただくなどして協力関係を構築しています。栄区や包括支援センターの訪問もあり、地域の幼稚園の運動会などのイベント参加などを相談しています。横浜市や港南区主催の研修や講習会にもに参加し、福祉の動向や情勢の把握に努めています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束の適正化のための検討をする委員会」で検討したこと踏まえ、職員のミーティングでは報告及び研修を行っています。運営推進会議では対策の取組状況や現状報告を行っています。	「身体拘束の適正化のための検討をする委員会」で検討した内容を、職員会議で報告及び研修を行い、また、運営推進会議でも取組状況や現状報告を行ない、身体拘束ゼロの取組みについて理解を得られるように努めています。フロアに拘束の3原則を掲示し、研修も実施し、職員への徹底を図っています。	今後の継続
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	「高齢者虐待防止委員会」で検討したこと踏まえ、職員のミーティングでは報告及び研修を行っています。運営推進会議では対策の取組状況や現状報告を行っています。 ご家族の面会、運営推進会議など外部の訪問の機会に適切に運用できているかを直に見ていただくよう努めています。	身体拘束と同様に「高齢者虐待防止委員会」で検討した内容を、職員会議で報告するとともに議事録でも共有しています。運営推進会議でも取組状況や現状報告を行ない、虐待ゼロの取組みについて理解を得られるように努めています。虐待が見過ごされることのないよう研修で定義や具体例を学ぶとともに、虐待通報相談窓口についても周知しています。	今後の継続
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	利用者個々の必要性を検討し、必要なサービスがあればつなげていくよう努める。実情はご家族と課題を相談し都度可能な対応いただく事で滞りなく運用できている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学時に実際に施設を見ていただき、介護記録等を見ていただき、不安が無いように、色々と質問いただき、説明を行っている。 契約前にご本人様との面接を行い、可能であればご本人様にも見学を行っていただいた上で契約を行っています。		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者やご家族等の意見、要望がありましたら、職員のミーティングで情報の共有を行い、検討し対応を行っている。 利用者本人の発言や要望等は、ご家族に伝え相談、調整を行い、要望が叶うよう努めている。	入居契約時に重要事項説明書に明記している苦情相談窓口について説明を行っています。毎月郵送している「さくらそう通信」には写真を載せ、近況報告を行うことで、表情が見れるようにしています。利用者やご家族等からの意見、要望があった場合には、職員ミーティングで情報を共有するとともに、検討したうえで対応の可否を決めています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回開催の職員ミーティングでは、事前に職員から意見をもらい、ミーティングで対応を検討しています。 日頃から職員から管理者や部門長と相談する機会は多く、メールや電話などでも対応しています。	職員からの意見や提案は日頃から聴くようにしており、緊急を要する案件についてはその場で検討し対応することもありますが、それ以外の意見や提案は月1回の職員ミーティングの議題に上げて対応を検討しています。必要に応じて随時個別に話しを聴くようにし、職員からの意見や提案を聴取すうるよう努めています。	今後の継続
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の勤務条件を把握し、希望に沿った勤務体制となっています。具体的には、曜日、早番、遅番、日勤、夜勤の勤務形態など。外部研修などに参加希望の場合も勤務スケジュールの調整等を行っています。	長年勤続していた職員(ケアマネジャー)の退職がありましたが、法人の理事が事業所のケアマネジャーとして勤務するようになりました。この機を変革期として捉え、事業所の運営方針を見直し、日常帳票類の整理・組織体制等の見直や再編成に取組みながら業務の統一、継続化、簡素化を進めながら利用者支援の向上に努めるとともに、職場環境の整備に取組んでいます。	今後の継続
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間の研修計画に従い、月1回開催の職員ミーティング時に内部研修を行います。その時に必要な課題があった場合には、その課題解決のための内部研修を行います。 必要な研修、職員の希望する研修がありましたら、外部研修に参加できるよう調整します。	年間研修計画を作成し、研修計画に基づき毎月の職員ミーティング時に内部研修を実施しています。研修テーマのみならず、必要と判断した場合にはその都度、テーマを設定して内部研修を実施しています。外部研修の案内が届いた際には職員に周知し、希望者がいれば参加できるようシフト調整を行っています。	今後の継続
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜高齢者グループホーム連絡会、港南区役所、地域ケアプラザ等の外部研修に参加し情報交換に努めている。 代表者は理事会、評議員会、全社ミーティング、各事業所の運営推進会議等に参加し、常に情報交換を行いサービスの質の向上に努めている。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前にご家族からヒアリングを行うとともに、ご本人とも行います。それを踏まえた上で、ご本人が安全で安心して過ごせますよう、実際のご本人の言葉や行動をよく観察し、意図することが何であるかを、都度、職員間で共有し、ご本人の気持ちを理解に努め寄り添えるように努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の不安な事、困っている事のヒアリングを行い、認知症は病気であることを踏まえ、その不安の多くは認知症介護においてよくある当たり前の事であり、不安になる事も、心配する必要がない事である事を整理し説明し実践していくことで安心いただき家族の不安の解消に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前のご家族のヒアリングと、本人との面接を踏まえ、課題を整理し、他の必要なサービスを検討し、ご家族、及び本人に説明し他の必要なサービス（医療等）が実現できるように調整し実施につなげる。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	自立支援に基づきできる事は本人にやっていただく事でADLやIADLの機能維持に努める。 利用者同士、利用者と職員との関係を共同生活を行うことで社会性を維持し、信頼関係につなげるよう努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人の過ごされている様子や体調等を都度お伝えするように努めています。 お伝え、相談することで、ご家族の気持ち、想いを聞き、ご本人の支援につなげるよう努めています。		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	感染症の注意対応のご理解ご協力といただいた上で、ご家族やご兄弟、馴染みの方々の面会はできるだけ実現できるように努めています。面会は事前にご一報いただくようお願いはしてますが、面会時間内であれば、いつでもできるだけお受けできるように努めています。	事業所では、感染症を持ち込まないよう手指消毒等の協力を呼びかけたうえで、家族や親類、知人や友人と面会していただくようにして、馴染みの関係性を継続できるよう支援しています。入浴等の時間と被らないよう事前に面会時間をお聞きすることで、スムーズな面会ができるようにしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	現状、本人の希望で自室で一人で過ごす方はいません。共同生活において社会性の維持に努めています。職員を介することで雑談を楽しんでいます。一緒に洗濯ものたたみ、レクレーションでゲーム等を行っています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了後も、ご家族との連絡は継続しています。主に他のご家族の介護相談の支援が多いいです。 契約終了後に、ご家族が職員になられた方がいます。		
Ⅲ　その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者一人一人の言動、過ごす様子や体調を観察しミーティング等で共有し、本人本位が何であるかを検討している。	入居前面談で、過去の生活歴、既往歴、趣味嗜好品、暮らし方の希望等について聴き取りながらアセスメントシートを作成しています。入居後は、本人との会話や暮らしぶりから今現在の思いや意向の把握に努め、職員ミーティング等で共有しながら思いや意向に沿った支援につなげています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前の家族や事業所からの聞き取り把握することはもちろんですが、日々、利用者一人一人の発する言葉を記録し、ミーティング等で共有し、ご家族に伝える事で、そういえばこんなことがあったなど、新しい生活歴の把握に努め、サービスにつなげる。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人記録は、午前・午後にバイタルチェック、3食の摂取量、水分摂取量のチェックを行っている。それ以外も、本人に言動や、様子を観察し、スタッフ間で情報を共有するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月職員ミーティングで課題を検討し、必要であれば都度ご家族、医療等に相談し、三ケ月毎に介護計画を見直しています。 現状に即した、わかりやすい計画書作成に努めています。	アセスメントシートの情報を基に初回の介護計画を作成し、入居後1ヶ月は本人の様子を見ながら支援を行い、アセスメントの情報と差異がないか確認しています。その後カンファレンスを開き、必要に応じて介護計画の見直しを行っています。毎月の職員ミーティングでモニタリングとアセスメントを行いながら現状の把握と情報を蓄積し、3ヶ月毎の見直し時に現状に即した介護計画を作成しています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の個別の様子は個別記録に記録し、 日々の特記事項は週単位の体温表に抜粋し記録管理しています。 それらの記録からの課題を毎月職員ミーティングで再度把握、共有し、介護計画に反映しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況やニーズに合わせて、柔軟にできる対応、支援を行うよう努めている。 スタッフの個々の特異な事、強味を把握し、柔軟な多様性のあるサービスに努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会の開催するイベントや訓練に参加しています。さくらそう実施の夜間想定避難訓練は、地域包括支援センター、町内会、社会福祉協議会、利用者家族に参加いただき実施している。		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望に沿って、主治医を決めていただいています。 馴染みの病院を利用したいご利用者は継続して利用いただいています。	入居時に事業所の協力医療機関について説明を行っていますが、本人と家族の意向を尊重して主治医を決めていただくようにしています。現在は全員が事業所の協力医療機関である「湘寿クリニック」に切り替えており、月2回の訪問診療を受診しています。歯科は必要な方のみ契約して、口腔ケアや治療等を受けています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	必要時、外部の訪問看護を利用しています。 日々、主治医と連絡が取れ必要応じて相談しています。速やかに個々の利用者の適切な医療等対応が受けられるように支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医と、救急搬送の必要性、入院の必要性を相談し、整理し、ご家族と報告、相談しています。 できるだけ早期に退院できるよう病院関係者と連絡相談をおこなっています。		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時にご家族のご意向を確認します。 持病の具合や、日々の体調等を観察、整理し、重度化のリスクを感じた時には、主治医と相談した上で、都度、ご家族にご意向の確認と、往診と事業所の介護で具体的に対応できることを説明します。	契約時に重度化した場合の指針について説明し、事業所でできることできないことを説明したうえで同意書を取り交わしています。主治医が重度化と判断した際には、その都度、家族の意向確認と今後の方針について話す機会を設けるようにし、事業所での看取りを希望された場合には、主治医、看護師、家族と連携を密にし、穏やかな終末期が迎えられるように支援を行っています。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応は定期的に内部研修を行うとともに、必要性が高いと感じた案件がある場合は、直近の職員ミーティング時に内部研修を行います。主治医が往診で月6回～7回来られるので、緊急時対応の疑問点や、不安な点を相談しています。		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	夜間想定訓練を通して地域との協力体制構築に努めています。 BCPの検討や見直し、机上訓練、研修を行い災害時に備えています。	年2回行っている夜間想定避難訓練では通報・消火・避難誘導手順を確認し、有事に備えて迅速に対応できるようにしています。訓練を通じて地域との協力体制構築に努めています。その他、BCPの検討や見直し、机上訓練、研修も行い災害時に備えています。事務所にハザードマップも張り出し、水害・土砂災害についても確認できるようにしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ　その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	優しい言葉かけに努めてます。 職員ミーティングで接遇とコミュニケーションの研修を実施してます。 日常的に職員の気になる言葉がけは職員ミーティング等で整理、検討を行っています。	理念にも「人を大切に」と掲げており、共同生活の中で、一人ひとりの個性や生活歴等を尊重しながら優しい言葉かけに努めてます。職員ミーティングで接遇とコミュニケーションの研修を実施し、日常的に職員の気になる言葉がけについては、職員ミーティング等で検討を行っています。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思い希望を受容し支援に努めています。 本人の希望に沿う事、同意をえること、選択していただく事、希望を察することに努め、自己決定にできるよう自己決定にちかずけるように支援を行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの意思及びペースを大事に過ごしていただいています。 意思が言葉にできない方は表情をみて、気持ちに希望にそって対応するように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人ひとりの希望を大事に対応に努めています。希望が言葉で伝えらえない方は、ご家族と身だしなみ相談し支援に努めます。		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みを日々把握に努め、希望をかなえられるように努めてます。机やランチマットを拭いていただくなどできる事をやっていただいてます。 月に1回ですが、手作りのおやつを召し上がっていただいてます。	生協で食材を購入し、主食から副菜まで職員が手作りした食事を提供しています。一人ひとりの好みに応じて調味料をプラスするなど嗜好に合わせることで食への満足度を高められるようにしています。できる方には机やランチマットを拭いていただくなど無理のない範囲で参加していただくようにしています。食事の前には食材の説明を行い、食べてる物が認識できるようにしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量の目標を立て、目標達成に努めています。 食事量、水分量、形態など、主治医と相談し検討しています。 月1回以上、体重測定を実施してます。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時・食後に口腔ケアを実施してます。 自分でできる方はご自身で、できない方は職員が介助を行っています。		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の記録を行い、排泄のタイミング等の把握に努め、失敗の無いように支援を行っています。 ふらつきのある方はトイレまでの移動の支援は行いますが、ズボンをおろすなど自分でできる事は自分で行っていただいてます。	利用者全員の排泄状況を記録し、一人ひとりの排泄状況やパターンの把握に努めています。排泄チェック表を参考にしながら声かけ誘導を行い、トイレで排泄できるよう支援しています。歩行状態の不安定な方であってもトイレにお連れして、ご自身でできることはやっていただくようにして、残存能力の維持に努めています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘にならないよう、食事の内容、水分摂取などに配慮してます。 トイレでの排泄の可能な方はトイレでの排泄に努めてます。 必要時、主治医と相談し下剤で排便を促します。		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	本人の希望に沿って、湯舟につかる等の支援を行っています。 体調に不安がある方は、主治医と相談し、シャワー浴を行っています。	事業所では午前中の入浴を基本とし、週2回本人の体調と希望を確認したうえで、健康面に考慮しつつ、清潔の保持に努めています。現在は重度の方が多い為、職員間で協力しながら入浴支援を行っています。入浴当日体調に不安がある方は、主治医と相談してシャワー浴で対応しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は活動的に過ごすように努めていますが、うとうとと眠くなられる場合は、短時間、ベッドで横になっていただいています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	最新のお薬情報説明書を確認できるようファイル管理しています。 薬の変更があった場合は、随時、職員全員にメールで報告を行っています。 薬の変更理由、追加理由等も都度、随時、職員全員にメールで報告を行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとり思い思いの過ごしています。 読書、塗絵などを自発的にされてます。 好きな歌のDVDを聞いたり、TVでスポーツ観戦したり、スタッフと雑談したりしています。		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	時間があれば中庭に花を見にに行きます。 公園でイベントがあれば見に行きます。 ご家族と外食に行けるよう支援に努めています。	庭には桜、紫陽花、菖蒲等の花が植えられており、天気や気候の良い日には、四季折々に咲く花を愛でるなどして季節感を感じていただくようにしています。公園で地域のイベントが開催されている時には見にお連れすることもあります。家族と外食に行かれる方もおり、その際には必要な支援を行っています。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	散歩時に近所のスーパーへの買物に行けるよう検討しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望があれば、ご家族等調整の上、電話することを支援します。手紙も同様。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の飾りを作り展示したり、季節の切花を飾ったりしています。 2階の食堂、居間からは、台所にいる職員が常に見え安心できる環境です。	季節の作品を作って展示したり、季節の切花を飾ったりして季節感を感じていただけるようにしています。共用空間は整理整頓を心がけ、室温・湿度・採光の管理は職員によって管理され、快適に過ごせる空間づくりが行われています。リビングの一角にエアマットとベッドを設置し、体調が優れない方などが休憩できるスペースを確保しています。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとりの利用者が安心して過ごせるように、食堂で過ごす利用者、居間で過ごす利用者、居間でも別々のテーブルで過ごす等、本人の気持ちを配慮した配置で過ごしていただいています。眠い時はベッドで寝ていただいています。		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はご本人が安心して過ごせるように、仏壇等、馴染みの物を設置いただいています。 一人ひとり馴染みの家具や飾り、写真などが飾ってあります。	居室は全室広さや間取りも異なっていることから、一般家庭と同じような造りになっています。家具類は、備え付けの物以外、仏壇等、馴染みの物持ち込んでいただくよう伝えています。人によって馴染みの家具や調度品が持ち込まれ、思い思いに過ごせる居室づくりをされています。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	歩行の導線を想定し家具を配置。 トイレまでの手すりを設置。 歩行困難な方は、ベッドの手すり、ポータブルトイレを設置して、できるだけ自立して過ごせるように環境設定を行っています。		

目　標　達　成　計　画

事業所　　グループホームさくらそう

作成日　　令和8年8月27日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目　　標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	接遇とコミュニケーション 適切な声掛けとは	尊厳を尊重する 感謝をもって支援する	内部研修にて 適切な挨拶と声掛けを学ぶ 適切な言葉遣いを学ぶ 態度と聴く姿勢を学ぶ	1年
2	6	身体拘束を理解する 無意識に身体拘束をしていないか スピーチロック	身体拘束を理解する	内部研修にて 身体拘束とは何かと学ぶ	1年
3	1	事業所の理念・方針等を理解する 面会の日程など柔軟に対応する	理念を理解する 「今という瞬間、その時を大切に」 ご家族が気軽に面会に来れる環境を作る	内部研修にて 基本10時～16時とはなるが、いつでも面会を受け付けるよう努める、調整する	3年
4	13	事業所の理念・方針等を理解する 利用者に優しく・職員に優しく・家族に優しく・事業所外の方に優しく	理念を理解する 人にやさしく	内部研修にて 理念を理解する。 人にやさしくとは何か人のせいにしない、物のせいにしない、仕方がないではなく、問題解決に努める	3年

注1）項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
注2）項目数が足りない場合は、行を追加すること。

㈱R-CORPORATION外部評価事業部